



東日本大震災により、お亡くなりになった方々に 謹んで哀悼の意を表するとともに、 被災された地域のみなさまに 心よりお見舞いを申し上げます。

被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、 少しでもみなさまのお力になれるよう、 弊社グループは引き続き 総力を結集して取組んでまいります。

ACKグループ 全グループ会社 役員・社員一同







震災直後、復旧の取組み

- ▶ 行政・各協会を通じて専門家として災害調査等を実施
- ▶ 義捐金の募集・ボランティア活動







震災復興を推進する組織の創設



復興支援の取組み

安全、安心な国土・地域社会の「創造と活用」が当社の使命

ACKグループは、平成23年4月1日付で

『"がんばろう日本"推進室』

(室長:千葉俊彦取締役)

を一日も早い震災復興支援のために創設

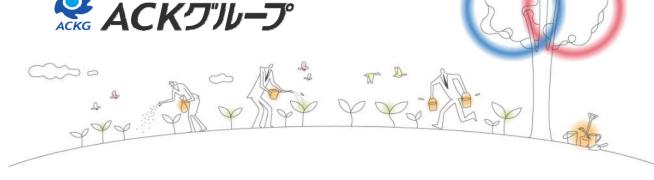


IASDAQ

2011年9月期 第2四半期 決算説明会

2011年5月31日 代表取締役社長 廣谷 彰彦







プレゼンテーション・アウトライン



本日のポイント

I: ACKグループのご紹介

Ⅱ: 2011年9月期 第2四半期業績ハイライト

Ⅲ: 2011年9月期 通期業績見通し

Ⅳ: 私たちの活動のご紹介 -ACKG2010*の推進-

V: 質疑応答

※当社の中長期経営戦略

APPENDICES

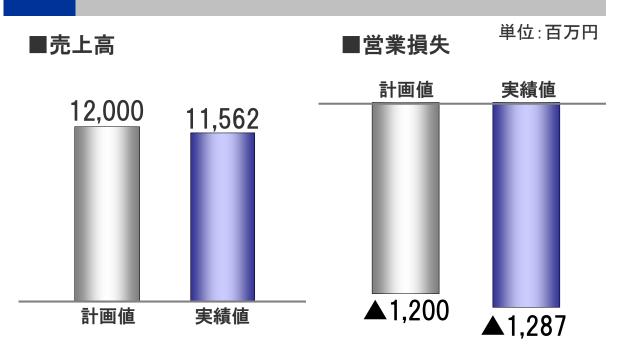
ー主要トピックス、連結決算詳細



本日のポイント



1 売上・利益は当初計画をほぼ達成





本日のポイント



2

ACKG2010^{*}は、着実に前進

海外の受注 と 環境・エネルギー分野が好調

海外

ベトナムの地下鉄・港湾等の大型案件を受注 インフラ投資案件は今後も続く見通し

国内公共

包括管理・低炭素・廃棄物処理 等幅広い総合コンサルティングを実施

国内 民間

小水力発電所の建設業務の取り組み 等、グループの連携による顧客開拓が結実







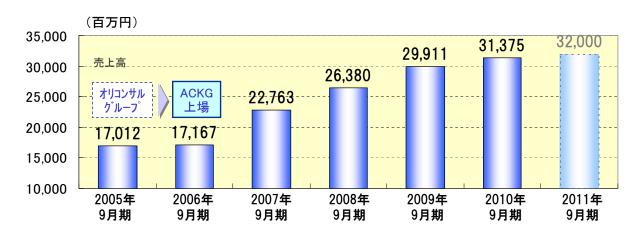


1957年(昭和32年) に、

株式会社オリエンタルコンサルタンツ として創業 {2000年(平成12年)日本証券業協会に店頭公開 }

2006年(平成18年) より、

多様な技術サービスを保有する同社グループ企業群の 純粋持株会社として設立・上場し6年目に入っています





グループ会社の紹介





多様な専門技術を保有した当社のグループ各企業は、技術の蓄積と信頼を長年に渡り積み上げてきました

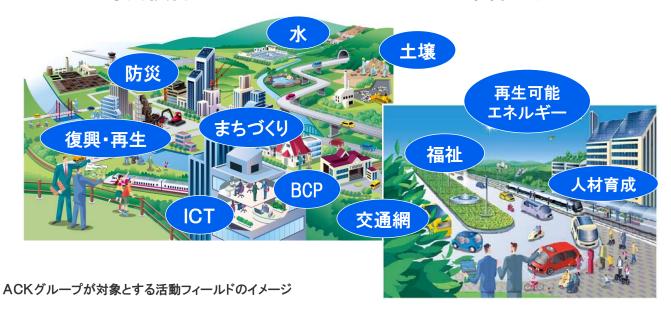
会社名	創立	保有する主な専門技術
※ 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
▼ 大成基礎設計株式会社	1962年	地質・土質・地下水の調査・構造 など
参数エイテック	1968年	建設・交通に関する、調査・設計・監理・測量・計器類 など
禁中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物の処理・活用 など
⚠ 株式会社 アサノ建工	1930年	さく井、地下水、建造物解体、ESCO事業 など
参 告井システムリサーチ ^{模式} YSR YoshiiSystemResearch.co.,td.	1978年	ソフトウェア開発・販売、ICTシステム開発 など
のRES SE 株式会社 オリエスシェアードサービス	2005年	間接業務、企業内ITサポート、人材マネジメントなど



グループ会社の活動フィールド



人々が安全・安心・便利に暮らせる そして効率的な経済活動や事業活動が出来る そんな人々の活動基盤創りの企画、検討、実現に取り組む 専門技術・コンサルティングサービス企業群です





グループ会社がサービスしている主な業務





分析



管理 維持 点検

* =当社の強み= グループ会社が保有する 多彩な専門技術・知識を 自在に組み合わせて 顧客ニーズに応えます

システム開発

設計

人材開発

施工管理

施工

コーディネート

ファシリテーション









業務の流れとグループ会社の提供サービス









調査

分析

企画 計画

協働

合意





設計

測量



調達

施工監理施工



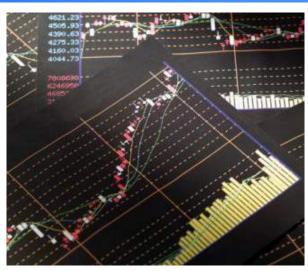


運営•運営指導

点検・維持・管理

補修







連結売上高



当期売上高は未達、通期では目標達成の見込み

▶海外軸で、当初想定よりも受注が進んでいる

(百万円)

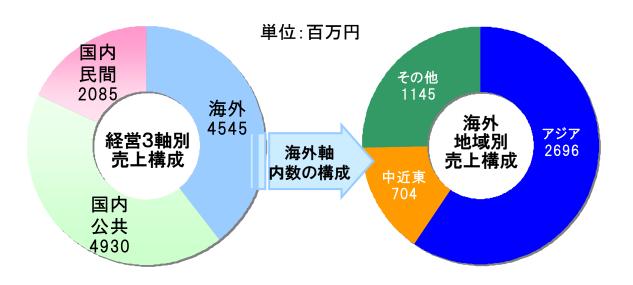
	前期 (2Q)	当期 (2Q)	増減	期首計画値
売上高	11, 997	11, 562	-435	12, 000

連結売上高 3軸経営分野別



海外・国内公共・国内民間の3軸経営の推進

- ▶3軸経営は、着実に実現に向かっている
- ▶海外軸は、アジア・中近東を中心にインフラ輸出が堅調





連結受注高



受注高は、ほぼ前年並みを確保

- > 国内公共軸で、予算削減により受注減少
- > 海外軸で、前期より受注が好調

(百万円)

	前期 (2Q)	当期 (20)	増減
受注高	16, 321	16, 069	-252



連結損益(利益)



営業利益と 経常利益は、ほぼ計画を達成

▶ 東日本大震災の影響により、特別損失[※]を計上

(百万円)

	前期 (2Q)	当期 (2Q)	増減	期首計画値
営業利益	▲ 1, 251	▲ 1, 287	-36	▲1, 200
経常利益	▲ 1, 198	▲ 1, 278	-80	▲1, 200
当期純利益	▲ 763	▲ 1, 169	-406	▲ 750

※特別損失:災害による復旧費用と減損損失 等を389百万円計上

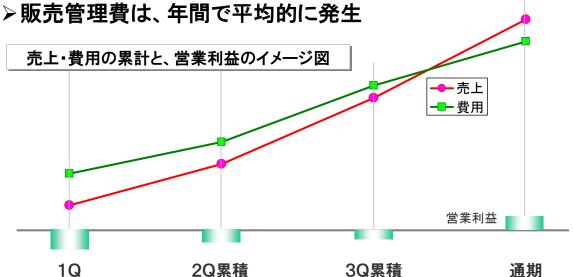


年間の業績推移の特性について



年度前半は、赤字を計上する傾向 (業界全般の傾向)

- ▶売上の累計が経費累計を超えるのが、第4四半期になる傾向。 年度予算からまとめて支払いされることによる業界的な構造
- ▶生産活動費用は、入金以前に発生







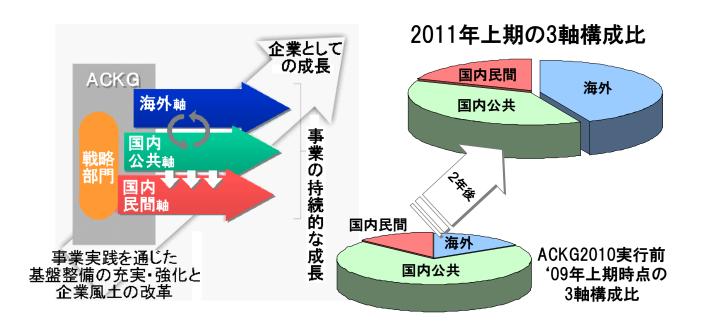


ACKG2010^{*}の3軸経営を推進



※当社の中長期経営戦略

海外・国内公共・国内民間の3軸で経営基盤を安定させる 中長期経営を目指しています





グループを取り巻く外部環境



海外

- ▶ 東南アジア等へのインフラ輸出政策が積極化
- ▶環境・エネルギー関連の海外支援政策が積極化

国内 公共

- ▶公共事業関係費の予算削減が続く見込み
- ▶新設から維持管理などの保全の方向へ転換

国内 民間

- ▶民間企業投資が下げ止まりつつある
- ▶ 環境・エネルギー分野でビジネスチャンスが拡大

東日本大震災を受けて

- ▶ 復旧・復興の補正予算編成などを注視
- > 点検・復旧業務は、積極的な取組みを継続



2011年9月期通期業績見通し



受注拡大と費用削減を継続 経常利益までの各段階の損益は目標達成の見込み

(百万円)

	2010/9月期 通期 実績値	2011/9 月期 通期 計画値	増減
売上高	31, 375	32, 000	1+ 2.0%
営業利益	471	550	16. 7%
経常利益	455	520	14. 2%
当期純利益	150	* △135	_

※災害による復旧費用と減損損失等で、389百万円の特別損失計上が影響

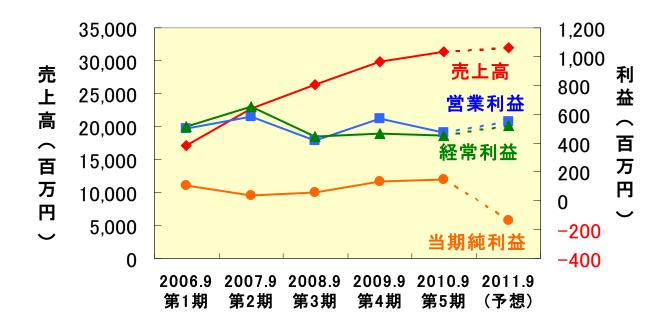


通期業績の推移



■ 売上高 :6期連続の拡大を目指す

■ 利 益:特別損失の計上により純損失には影響



IV:私たちの活動のご紹介 −「ACKG2010」の推進−







海外軸での活動 ~ACKG2010の推進~



1 インフラ輸出関連でシェアを拡大

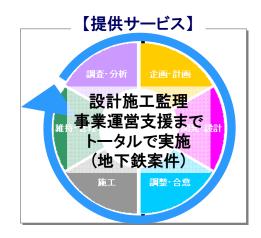
グ 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

▶ 政府の成長戦略であるインフラ輸出で受注!



契約式典にて

ベトナムで地下鉄(ハノイ市)・港湾 (ラクフェン港)の大型案件を受注





海外軸での活動 ~ACKG2010の推進~



2 海外での環境対策で業界屈指の実績



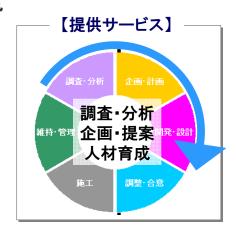
> 海外各国で気候変動対策の仕組みづくりに参画



途上国での、CDM(クリーン開発メカニズム)を中心とする気候変動問題のコンサルティングを実施



途上国でのNAMA(適切な 国家緩和行動)の枠組みで、 プロジェクトに参画中



海外軸での活動 ~ACKG2010の推進~



3 海外で、震災などの復旧・復興に貢献

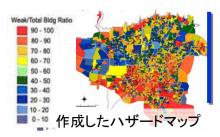
- **∅**₩≾⇔せオリエンタルコンサルタンツ
 - ▶ 自然災害からの復旧・復興・防災プロジェクトの経験を保有
 - ▶東日本大震災の対応に、この経験を活かして活動



復旧・復興支援時の様子

スマトラ沖地震 インドネシアの被災地全般 で、災害復旧・復興を支援

提供サービス】 調査・分析 企画・計画 人材育成 合意形成 施工等 トータルで実施



テヘラン 総合地震防災 及び管理計画調査

👰 แรกก ACKTIV-T

国内公共軸での活動 ~ACKG2010の推進~



1 震災の復旧と復興支援で活動

- **ジャメキャナ ルエン・ 別コンサルケンツ で 大成基礎設計株式会社** 株式会社 エイテック トグループ各社の震災復旧・復興チームが連携
 - ▶ 復旧・復興に向け、地元企業とのJV、学会・協会との協力



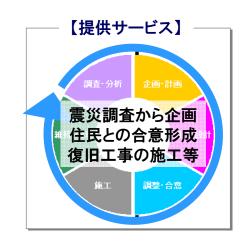
- ·現況調査、物流調査、
- ・復興に向けた各種調査
- ·被災状況別復興手法検討
- ・市街地復興手法検討など多数



支援活動で先頭に立つ オリエンタルコンサルタンツ 執行役員 﨑本

オリエンタルコンサルタンツ 石巻港の調査などを実施

大成基礎設計、エイテック 震災直後より調査などを実施





国内公共軸での活動 ~ACKG2010の推進~



2 環境・エネルギーに関連する調査・検討を多数実施

∅ kxt☆t オリエンタルコンサルタンツ

- ▶ 地域自立・振興をねらいとしたクリーンエネルギーの利活用
- > バイオマスメタン発酵設備の導入計画を検討

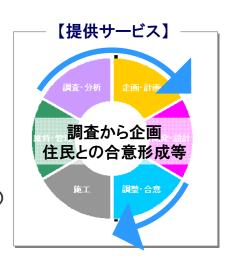


地域での 維持管理の仕組みを提案

小規模農業用水を利用した 小水力発電「三好市モデル」 (三好市)

> 地方都市の温暖化対策 新実行計画を策定(珠洲市)

- •地域活性化
- •環境配慮



など



国内民間軸での活動 ~ACKG2010の推進~



1 観光事業やクリーンエネルギー事業で民間に貢献

- ъ 大成基礎設計株式会社 🕕 株式会社 アサノ建工
 - > 屋久島のリゾート施設の温泉井戸掘削工事を受注
 - > グループ企業の連携で小水力発電施設の調査から施工までを受注



地質や環境にあわせた 適切な工法や機器で、 安全で確実な温泉掘削 工事を施工



小水力発電の民間施設で、 調査・設計・施工を受注

国内民間軸での活動 ~ACKG2010の推進~



2 リソースマネジメントサービスも高い評価

✓ 株式会社
オリエスシェアードサービス

► 人材アセスメントツール「Harrison Assessments」が好評 日経ビジネスにも取り上げられました



掲載された日経ビジネス

グローバル人事部

お問い合わせ http://www.ories-ss.jp/lp/ (株)東芝、(株)シーボン、パナソニック(株)など 様々な企業でご採用いただいています

行動特性からみた新 興国の国別人材の特 徴とマネジメントのコ ツが評価

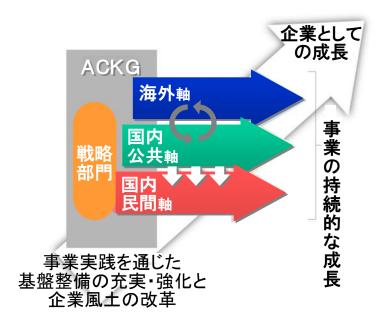


🏩 w.sau ACKグループ

ACKグループは、今後も3軸経営を推進



~持続的に成長し続ける企業の実現~



感じてますか 未来の鼓動



中長期経営戦略ACKG2010の着実な推進により 『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、 今の業容にとらわれずサービス領域の無限大へ







本資料および本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の見通し、 目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当 社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来に おける当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。







ー主要トピックスー





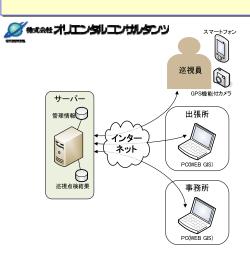
主要トピックス【国内公共】



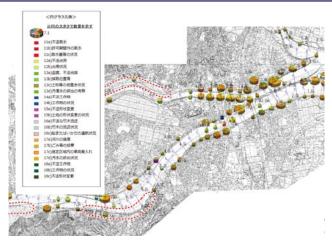
◇河川巡視点検の効率・効果向上を検討

〇スマートフォン、WEB GISを利用したシステムにより点検調査、 見える化を試行的に実施

<五ヶ瀬川水系河川巡視効率化検討業務>



▲システム構成



▲点検結果の「見える化」



主要トピックス【国内公共】



◇電気自動車を活用したカーシェアリングモデル事業

〇電気自動車等の普及を目的とした、カーシェアリングおよび充電利 用の実証実験を実施





http://www.osakacity-carshare.jp/

(株)マツダレンタカー、パーク24(株) との特別共同企業体を組み、 大阪市で実施

▲大阪市での事業



http://www.urcarshare.jp/

UR賃貸住宅初のカーシェアリング実証実験

▲UR賃貸住宅での事業

主要トピックス【国内公共】

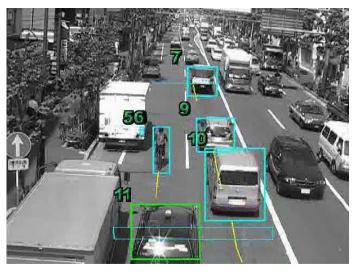


◇画像解析ツールを国土交通省に納入

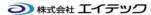
〇時空間MRF技術[※]により、道路の維持管理用カメラの映像から 交通量計測を行なえるシステムを開発して納入

※時空間MRF

Markov Random Field の略で時空間画像を 領域分割するための 確率モデル



▲画像解析のイメージ





主要トピックス【新サービスの開発】



◇施設の点検調査にスマートフォンを活用

- ○点検結果を現場からネットを経由してGISシステムに取り込むシステムを開発
- 〇震災の復旧・復興において「被災分布・被災程度の把握」「損傷内容の集計」「復旧工事の管理」などに活用できる







主要トピックス【国内民間】



◇首都圏地区の再開発事業 建物の解体工事

〇国内民間分野において、首都圏地区の再開発事業に関わる受注

⚠ 株式会社 アサノ建工



解体工事の様子 (東池袋)



一連結決算詳細一



連結貸借対照表



(単位:百万円)	前期(2Q)	当期(2Q)	増減額	・期末間際の 人 入金増加
流動資産	18, 525	(76.2%)	19, 364	(79.6%)	+839	
固定資産	5, 796	(23.8%)	4, 943	(20.4%)	853	┘•減損損失 │•固定資産の
資産合計	24, 322	(100.0%)	24, 338	(100.0%)	+16	減価償却
流動負債	16, 594	(68.2%)	15, 123	(62.1%)	-1, 471	・有利子負債を
固定負債	2, 265	(9.3%)	4, 129	(17.0%)	+1,864	短期借入金から 長期借入金・社債
負債合計	18, 859	(77.5%)	19, 253	(79.1%)	+394	へ固定化
資本金	503	(2.1%)	503	(2.1%)		
資本剰余金	748	(3.1%)	748	(3.1%)		■季節変動による
利益剰余金	4, 089	(16.8%)	3, 793	(15.6%)	-296	✓ 四半期純損失の 影響
少数株主持分	323	(1.3%)	331	(1.4%)	8	4 √ ■
純資産合計	5, 462	(22.5%)	5, 085	(20.9%)	377	・自己株式の取得
負債・純資産 合計	24, 322	(100.0%)	24, 338	(100.0%)	+16	及び純損失計上



連結損益計算書



(百万円)

	前年 (2Q)		当期(2Q)		増減額	
売上高	11, 997	(100.0%)	11, 562	(100.0%)	-435	・大型案件の受注
売上原価	9, 637	(80.3%)	9, 304	(80.5%)	-333	時期の遅れ
販売費・ 一般管理費	3, 610	(30.1%)	3, 544	(30.6%)	-66	・経費削減の継続
営業損失	▲ 1, 251	(▲10.4%)	▲ 1, 287	(▲11.1%)	-36	
経常損失	▲ 1, 198	(▲10.0%)	▲ 1, 278	(▲11.0%)	-80	•減損損失等
四半期純損失	▲ 763	(△ 6.4%)	▲1, 169	(▲10.1%)	-406	/ 特別損失の計上
受注高	16, 321		16, 069		-252	・国内公共の減少



連結キャッシュ・フロー



前受金の着実な獲得で、営業キャッシュフローが改善

(百万円)

			(1001 17	
	前期 (2Q)	当期 (2Q)	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	▲ 1, 657	▲ 1, 264	+393	・大型案件の
投資活動による キャッシュフロー	▲81	▲ 148	-67	前受金を獲得
財務活動による キャッシュフロー	2, 844	3, 970	+1, 126	・期末間際の入金
現金及び現金同等物 の期末残高	2, 871	3, 880	+1,009	を4月初旬に返済



経営指標(連結)



マイナス要因は、東日本大震災による特別損失計上

	単位	前期 (2Q)	当期 (20)	
1株当たり四半期純利益(EPS)	(円)	▲138. 92	▲ 217. 55	※ 1
自己資本比率	(%)	21. 1	19. 5	※ 1
自己資本純利益率(ROE)※2	(%)	▲14. 6	▲ 23. 6	※ 1
総資産経常利益率(ROA) ※2	(%)	▲ 4. 9	▲ 5. 3	
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0. 32	0. 31	

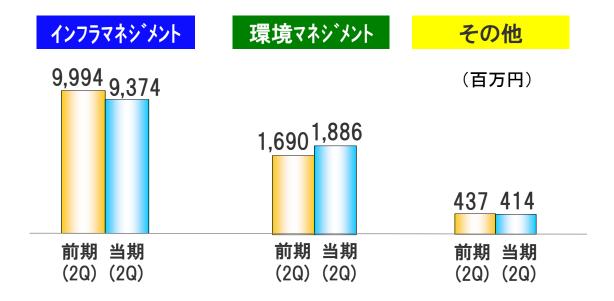
※1: 災害による復旧費用と減損損失 等で、389百万円の特別損失計上が影響

※2: 資本・資産は、2011年9月期首と当期(2Q)末の平均にて算出



セグメント別売上高について







ーグループ沿革と業容ー





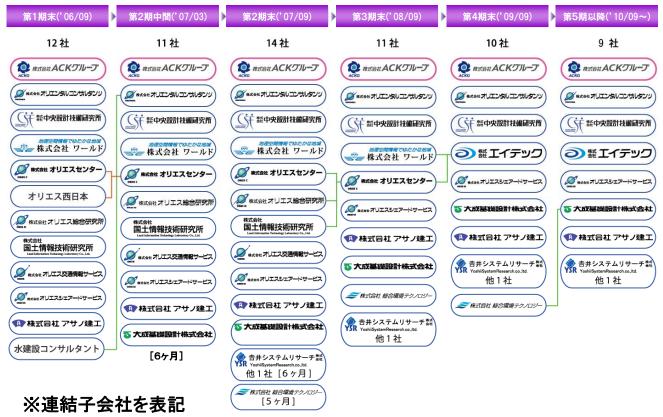
グループ会社の変遷(グループ経営の効率化)



3軸による

経営基盤の

安定化を推進





国内公共事業

海外事業

国内民間事業



グループ会社の主な活動フィールドと分野



インフラ・社会資本整備分野で貢献



ACKグループが対象とする事業のイメージ



グループ会社の主な活動フィールドと分野



環境・エネルギー分野で貢献



ACKグループが対象とする事業のイメージ

グループ会社のコンサルティング概要



様々なフィールドで、コンサルティング[※]を行います

※専門知識・技術により、問題の発見・解決策の提案・改善の補助/推進、戦略への提言などを行う





調査•分析 企画 計画

プロジェクト推進課題解決 - 1



運営・運営支援維持・管理

ACKグループが行うコンサルティングサービスのイメージ



ACKグループの顧客



事業を行う様々な機関・企業が私達のお客様です

海外

- ·独立行政法人国際協力機構(JICA)
- ・本邦民間企業(商社/メーカー等)、海外の政府/企業

等

国内 公共

- •中央省庁、都道府県、市町村
- •大学、公的研究機関

等

国内 民間

- ・公益法人(電力/ガス/通信/鉄道)
- ・法人(商社/不動産/メーカー/プラント/ゼネコン)
- •個人事業主

等



ACKグループの社名の由来



私たちACKグループは、 社会を豊かにする、コンサルティング・サービスを提供します。

ACKグループは、

「知:Knowledge」を追求し、

「前進し続ける: Advancing」ことを目指す

「コンサルタント: Consulting」集団である。

また、ACKグループの求める「知」は、

「活動的な知: Active Knowledge」

でありたいと考えている。

【ロゴマークの意味】

「知」を核とし、 決まった型にはまらず、 時代の変化に応じて、自由に業容を変えながら仲間を募り広がっていく。



お問い合せ先







〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: http://www.ack-g.com

(銘柄略称: ACKG/証券コード: 2498)

問合せ 統括管理本部 平山 光信

e-mail: ir-ackg@ack-g.com



本日はご多忙の中、 弊社の決算説明会にご来場いただき、 誠にありがとうございました。

